



～特別な配慮を必要とする幼児への
教育的支援モデルの開発～

奈良教育大学附属幼稚園
竹内 範子

I 特別支援教育への模索

◎幼稚園における幼児の現状の把握

- 「集団行動ができていない」
- 「衝動的である」
- 「キレやすい」
- 「自分の気持ちをあらわすことが苦手」
- 「友達との関わりをうまくつくることができない」

など

自律する力の育ちの問題

行動上の問題

人とのコミュニケーション上の問題

が目立ってきた

- ・「気になる子」に早期に気づき、早期に支援することの必要性
- ・教育現場での指導の難しさ



研究テーマ“ひとりひとりが輝く保育をめざして”
「特別な配慮を必要とする幼児への
教育的支援を考える」

II 研究内容

- 1、特別支援教育における支援プロセスの確認と園内体制の構築
- 2、個別の教育的支援プランの作成
- 3、ケースカンファレンスの実施
- 4、感覚統合の視点からの保育の再考

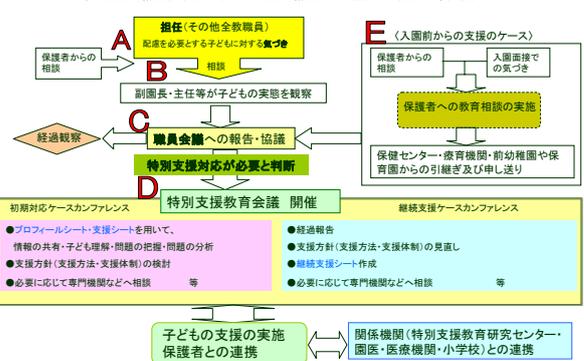
1. 特別支援教育における 支援プロセスの確認と園内体制の構築

(1) 支援体制の必要とその取り組み

- ・支援の必要な幼児のニーズに気付く
- ・幼児を多面的に捉え共通理解することで効果的な支援を行う
- ・園全体で支えることで園が1つのチームとして機能する

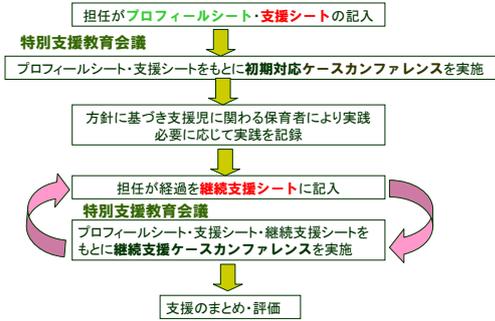
(2) 支援体制を図式化する

特別支援教育における支援プロセスと園内体制



2. 個別の教育的支援プランの作成

個別の教育的支援プラン作成のプロセス



支援シート

本児の困っていることや担任の苦慮していること

- ①感情のコントロールがうまくできない
- ・みんなと一緒にする活動に参加しにくい
- ・友達との関係が保ちにくい
- ②園での姿と家族の前での姿が全く違う

支援シート

情緒面の(B)気になる場所
感情のコントロールするのが苦手
激高すると修復できない

情緒面の(C)してみたこと
落ち着ける場や時間を確保する
ゆっくり関わり気持ちを落ち着かせる

支援シート

人とかかわりの(B)気になる場所
友達に合わせるのが苦手
少しのことで不安になる

人とかかわりの(C)してみたこと
友達に嫌がることをしたときには叱る
落ち着いている時に先生の思いを伝える

支援

この時点での目標と支援方針

人に対して信頼感をもって接することができるようになり、おだやかにみんなと一緒に生活を楽しめるようになってほしい

①保育室にB児の居場所を確保する。
B児には・・・

- ・隣の友達の顔と名前を印象づけ、その隣に座ればいいことを知らせ安心感をもたせる。
- ・みんなと一緒に活動できた時には、しっかり認めほめる。

友達には・・・

- ・B児の場を確保したり、B児を呼んでもらったりするよう働きかける。

②家庭では受け入れることを心がけてもらう。

継続支援シート

情緒面の(E)変化したところ
怒ったり泣き叫んだりするが、自分で気持ちを立て直した後はケロリと機嫌をなおす。
トラブルを避けようとするB児なりの努力が見られる。

情緒面の(F)要因として考えられること
自分の思い通りにならないことが、少しずつわかってきたのか。

継続支援シート

人との関わりの(E)変化したところ
同じグループである友達を目指して登園し、友達との遊びを楽しむようになった。友達の名前を覚え、口にすることが増えた。

人との関わりの(F)要因として考えられること
同じグループの友達に受け入れてもらっているという安心感があつたのではないかと。

継続支援シート

この時点での支援方針

- 多面的・多角的な評価をする。
- みんなと一緒に活動しないことがわるいことではないことをB児に知らせる。
- 肯定的に自分を見ることを積み重ねる。
- 母親に対するプレッシャーを軽減し、安心感を持たせる。

3、ケースカンファレンスの実施

- ・担任の気付きをもとにプロフィールシート、支援シートを作成
- ・全保育者、大学の先生等が参加し、特別支援教育会議で、対象児について話し合う
- ・対象児の見方、理解の共通理解を深める
- ・取り組み方、支援方法などを検討し、園としての統一した支援方向、支援方針を定める

4、感覚統合の視点からの保育の再考

- ① 感覚統合について学ぶ
(感覚統合とは、固有感覚、触覚、前庭感覚、聴覚、視覚などの感覚情報を整理したり統合したりする脳の働き)
- ② 感覚統合の視点から幼児の行動解釈を行う
- ③ 感覚統合の視点から保育活動を再考する

Ⅲ、まとめ

★「特別な配慮を必要とする幼児」への支援

- 1、一人ひとりのニーズに合った支援
- 2、保育者との信頼関係
- 3、安心できる居場所づくり
- 4、自尊心(かけがえない自分を大切に思う心、自分の弱いところ、嫌なところも含めて自分を丸ごと肯定する気持ちであり、自分の存在そのものを価値あるものと認める心。そしてその心は人のことも同じように大切に思う気持ちにつながる)を大切にする
- 5、周りの子どもたちとの関係

★特別支援教育における支援プロセスと園内体制の確立の意義

- 1、「特別な配慮を必要とする幼児」を園全体で支える
- 2、個別の教育的支援プランの作成による「特別な配慮を必要とする幼児」の課題の明確化
- 3、「特別な配慮を必要とする幼児」を含めた集団作り、クラスづくりを支える